



2026.3.31

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

3月はローラーコースターのような乱高下相場が続きました。市場は原油価格の動きに過剰に反応し、実体経済を踏まえた相場展開とは言い難い状況です。中長期の原油価格の方向性、その基となる中東諸国やグローバル政争問題は極めて重要ですが、日々の変化はあえて黙認すべきではないでしょうか。他方、昨今の市場は多分に需給要因であることを考慮すると、日々の価格動向こそ正しい市場の在り方とも解釈できます。ゆえに短期間で勝負をするのか、または価格は価値に収れんするという長期投資の王道を貫くか、投資家としての姿勢が問われます。無論、皆さまのさわかみファンドは、長期投資の軸を崩すつもりはありません。しばらく申し上げてきたように、はだかの王様への不信感が募っています。しかも足元の米国においても。市場や経済への悪影響を恐れる王様ですが、中間選挙に向けて更なる無理を押しつけてくるかもしれません。しかし、私たちの見るべきは未来の社会、そこで頑張っている企業。生活者目線を忘れず、この荒波にもどつしりと構えていく所存です。おかげさまで、この4月には10名の社員を迎えます。セミナーなどで皆さまにご紹介できる日を楽しみにしております。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 黒島 光昭

皆さまのさわかみファンドは荒波の中で航海を続けています。2月28日の米国・イスラエルのイラン侵攻以降、トランプ発言に市場が振り回され乱高下しています。強引な交渉の手法に共感できませんが、影響を受けてしまうマーケットには付かず離れずの平常心で長期投資のリズムを堅持しています。さわかみファンドが戦略的に調整している現金比率の厚みと適正な投資配分が基準価額の下げを緩和しました。武力衝突前の2月27日から3月30日でTOPIX配当込みが-9.19%に対し当ファンドは-7.26%でした。昨年の運用報告会で説明しましたようにコロナ禍以降の実体経済では世界で肥料の取り合いが顕著で、その高騰は食料インフレに繋がります。今回の中東有事による窒素肥料の動向を懸念しています。中東で生産されるLNG(液化天然ガス)から水素を取り出し、その水素と空気中の窒素を合成して窒素肥料原体となります。カタールのLNG工場が大被害を受けており世界の肥料生産への影響は必至です。しからは窒素リサイクルに注目。下水や畜産廃水から窒素化合物の結晶を再生する方法など、窒素を地域内で循環して調達できるような技術やノウハウを持つ企業を無くてはならない存在として注目しています。(3月30日)

ファンド情報 2026年3月30日現在

顧客数(直販分)	133,909名(直近1か月 +2,936名)
定期定額購入 契約数	31,808名(全体比23.8%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日 (金額変更・中止)	2026年 4月17日(金)
振替日 (引落日)	2026年 5月1日(金)
約定日 (買付日)	2026年 5月14日(木)

約定日(買付日)とは…

振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります)

さわかみ投信からのお知らせ



皆さまと応援する「#かなえない夢」の

投票受付中!!

投票期間: **3.13(金) ~ 4.12(日)**

今年は総数**11,408**件の投稿のうち、約2か月間の審査を経て選ばれた11件の夢の中から、**ファンド仲間の皆さまにご投票いただきたい**と思っております。

ぜひ「応援したい!」「実現してほしい!」と思う夢に、一票をお寄せください。

詳しくは特設サイトをチェック!!

特設サイトはこちら

【投票締切】

2026年**4月12日(日)**まで



ご不明点は、お気軽にお問合せください。

☎ ご縁の窓口 **03-6706-4789**